

史料群番号 32

史料群名	ひらやまけいじ 平山啓次家文書	旧所蔵者	平山啓次
探訪時住所	茨城県稲敷郡阿波村		
現在の住所	茨城県稲敷市阿波		
探訪年月	昭和26（1951）年8月		
史料の年代	寛政11（1799）年～文政6（1859）年	史料の総点数	14点
年代の内訳	近世 14点	筆写稿本	あり
既刊行目録	「1953年11月 漁業制度資料目録 第9集 全国篇Ⅵ 日本常民文化研究所・水産庁資料整備委員会」「昭和五十年三月 水産庁水産資料館所蔵古文書目録- 水産庁水産資料館・日本常民文化研究所」「平成十五年 水産総合研究センター所蔵古文書目録-茨城県（霞ヶ浦・北浦周辺地域）関係史料- 水産総合研究センター・神奈川大学日本常民文化研究所」		

収蔵にいたる経緯

探訪の書類に寄贈と記されている。「漁業制度資料目録 第9集」に同家史料が掲載されており、現在中央水産研究所に収蔵されている史料と、その内容はほぼ一致する。おそらく、本史料群は探訪から現在に至るまで、史料の散逸、移動は生じなかったと考えられる。

史料群の概要

探訪地の阿波（あば）は、霞ヶ浦の南岸にあり、近世には常陸国河内郡阿波村があつて、明治22年に6ヶ村が合併して阿波村となり、昭和31年に桜川村に含まれた。平成17年には稲敷市となっている。

幕末は旗本3氏と幕府の相給村であつた。史料はすべて近世文書で、大杉神社や安穩寺などの社寺関係が多い。大杉神社は航海漁業などの神として信仰を集め、利根川、江戸川水系の大杉講、あんばさま信仰の中心である。

なお、本史料群の詳細については「水産総合研究センター所蔵古文書目録」を参照していただきたい。

